

下新川郡中教研研究計画

会長 松田 勝仁
会員数 66名

1 本年度研究の基本方針

主題の解明を図るために、研究主題と研究内容(P)、授業研究と研究発表(D)、学力調査等(S)のトライアングルの関係を重視し、「令和の日本型学校教育」の理念に則して研究を推進する。

- (1) 指導内容を小・中・高等学校一貫の立場から見通し、相互の関連を図りながら系統的・発展的な指導に努める。
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くよう、個に応じた指導の充実を図る指導計画、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
- (3) 生徒の自主的・自発的な学習活動を促し、考えを深め合い、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学び方が身に付く指導計画、指導方法の改善に努める。
- (4) 指導計画や指導方法の改善に生かすため、学習の過程や成果を評価規準に基づいて評価し、指導と評価の一体化に努める。
- (5) 研修の成果を振り返り、日常の教育実践に生かすことができる研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番	部会名	部員数	研究主題
1	国語	7 (重複2)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語の資質・能力を育てる指導と評価はどうあればよいか。 －身に付けさせたい資質・能力を明確化した授業づくりと指導に生かす評価－
2	社会	7 (重複2)	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるには、どのようにすればよいか。 －教材開発や学習活動の工夫と指導と評価の一体化－
3	数学	10 (重複3)	数学的に考える資質・能力を育成するために、学習の成果を的確に捉え、指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って、次の学習に向かうための指導と評価はどうあればよいか。
4	理科	9 (重複1)	理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 －生徒自らが見通しをもち、検証できる仮説を設定しながら観察・実験を計画し、課題を探究することを目指す指導の工夫－
5	音楽	3	幅広い音楽活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。
6	美術	3 (重複2)	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 －美術科の特質や学習過程を踏まえたICTの効果的な活用－
7	保健体育	9	体育や保健の課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現を目指そうとする生徒を育てるための学習指導はどうあればよいか。

番 号	部 会 名	部 員 数	研 究 主 題
8	技術・家庭 (技術)	3	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活や社会にいかすための問題解決的な学習の充実－
9	技術・家庭 (家庭)	1	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活や社会にいかすための問題解決的な学習の充実－
10	英 語	8 (重複1)	コミュニケーション能力を養うにはどのように指導したらよいか。 －聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して－
11	道 徳	8 (重複)	主として集団や社会との関わりに関する道徳的諸価値についての理解を基 に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての 生き方についての考えを深める道徳科の授業はどうあればよいか。 －「考え、議論する道徳」に向けた発問の工夫－
12	特別活動	9 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあ ればよいか。 －話し合い活動を通して、合意形成や意志決定をして実践しようとする生徒の 育成を目指して－
13	特別支援 教 育	1 1 (重複)	特別な支援を必要とする生徒の能力や可能性を伸ばし、自立と社会参加を 推進する指導はどうあればよいか。
14	保 健	3	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活 を営む資質・能力を育てる健康教育はどのようにすればよいか。

3 年間計画の概要

月	会合名	会 場	内 容
4	事前研修会 全体研修会 部 会	入 西 中	令和5年度事業・決算報告 令和6年度役員・事業・予算等の審議、承認 研究組織・研究主題・年間計画の作成
6	部 会	朝 日 中 入 善 中 入 西 中	教材研究、研究の視点の明確化、指導案の作成と検討 授業研究、事後研究、発表資料検討 等
10	中学校教育 課程研究大会	各 会 場	授業研究、研究発表と協議 等
1	事前研修会 部 会	入 西 中	令和6年度事業経過・会計中間報告 令和6年度研究のまとめと反省 研究紀要の作成と配布

4 留意事項

- (1) 県中教研の研究主題を踏まえ、望ましい学習過程に着目して研究を推進する。
- (2) 指導案の作成、発表資料の検討等、必要に応じて部会ごとに増会する。
- (3) 特別活動、道徳科については、他教科との内容的・時間的な調和を考慮して研究を進める。